

研究機関：広島大学

研究課題名	新型コロナウイルス流行前後での大学生の考え方や生活の変化についての研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科口腔生物工学 教授 二川 浩樹
研究期間	2020年12月15日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	2020年 月 日から2021年5月の間に広島大学歯学部歯学科に在席する1～6年生の学生で、研究の参加に同意を得られた学生
意義・目的	2020年2月から始まった新型コロナウイルスの感染拡大は、日本人全体の生活に大きな変化を余儀なくさせました。大学生においても同じく、親の生活困窮による仕送りの減少やアルバイトの減少による生活苦やオンラインによる新たな授業形式と学生生活にも大きな変化がありました。加えて、コロナウイルスの感染拡大はその後収束の兆しは見せず、このままウィズコロナの状態が続くように思われます。そこで、大学生におけるコロナ流行前後での大学生の考え方や生活の変化について調査を行うことにより、今後の学生生活のあり方を検討し、大学生への心理的、経済的援助の方法について検討するものです。
方法	倫理委員会承認日～2021年5月の間に歯学部歯学科1～6年生の学生を対象に新型コロナウイルス流行前後でどのように考え方や生活が変わったかについての質問紙調査を行い、結果を集計し分析を行います。アンケートは無記名です。回答には約5分かかります。 大学生生活にあまり慣れていない1・2年生の回答とその他の学年の学生の回答には差ができるのではないかと考えたため、未成年の方も研究対象者とさせていただきました。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科口腔生物工学 教授 二川 浩樹
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。アンケートは無記名のため、個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 【未成年者の親権者の方へのお願い】アンケートは無記名のため、提出後は回収ができません。そのため、未成年の方が研究に参加する事を希望されない場合は、アンケート提出前に研究対象者にお伝えいただくようお願いいたします。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5097 広島大学大学院医系科学研究科口腔生物工学 教授 二川浩樹